

広報 たんごの風 2001 Vol.9

「安心」を支える消防を目指して



大好評の防火服体験 暑くてけっこう重いんです(似合うでしょ)

間人保育園の園児とお母さんたちが峰山消防署の見学に来られました。

みなさん消防車や救急車の中を見たり、防火服を着てみたりと笑顔のたえないひとときでした。

未来の消防士はこの中から生まれるのかな。

火事・救急・救助

▼
局番なしの119へ
(携帯電話でも同じです)

消 防 の 広 場

夏は何かと楽しい行事や、外に出かける機会の多い季節ですが、火災の多い季節でもあります。

丹後でも昨年の夏は大小合

わせて28件もの火災、やばやが

発生しました。7月、8月で28

件ということは約3日に1件の割合であつたことになります。

昨年の火事の中で、夏に多いと思われる事例を挙げてみます。

①墓掃除のこみを燃やしていく

その火が周りに燃え広がつてしまつた。

救命講習会

9月8日(土)

昼の部 13:30 ~ 16:30
夜の部 19:00 ~ 22:00

日常の生活の中で、家族や他の人が、目の前で倒れたり苦しんでいるとき命を救えるのはあなたかもしません。人工呼吸や心臓マッサージなどの知識と技術の講習会です。なお、参加していただいた方には、修了証と記念品をお渡しいたします。

問合せ先

峰山消防署 講堂

申込み

平成13年8月10日(金)から

8月31日(金)まで

予定人数

昼夜共 先着30名 参加無料

峰山消防署 救急係まで

②キャンプやイベントなどで打ち上げ花火をしたところ林の中に飛んでしまった。③線香やろうそくの火が周りの燃えやすいものに燃え移ってしまった。

このように注意しだいでは火事にならぬにすむと思われる

事例が多く見られます。また、

善意を込めてお互いに注意を

していただくことも大切なこと

です。

7月20日～8月25日

6月7日に行われた京都府予選を、3種目、5人の隊員が見事に突破し、7月19日に行われる東近畿地区救助指導会に出場します。隊員はそれぞれ目標に向かい日々訓練に励んでいます。

丹後広域消防組合では、平成14年4月1日採用予定の消防職員を募集します。

受験資格 昭和53年4月2日から昭和59年4月1白までに生まれた方

申込方法 申込書は、各消防署及び丹後各町の役場窓口にあります。

成績を出し切り 練に励んでいます。

申込期限 平成13年8月7日(火)から

試験日 平成13年9月16日(日)

結果発表 平成13年9月16日(日)

募集中

1名

職員を募集

東近畿地区救助指導会に出場



はしご登はん

池本消防士 大会での上位入賞を目指します。

船越消防士 全国大会頑張ります。

登はん 昨年以上成績を目指します。



はしご登はん

山本消防士 昨年以上成績を目指します。



登はん ほふく救出

井上消防士 木下消防士 チームの団結力を日々の成果を出し切ります。

今回、特集で3人の震災経験者にご登場いただきました。■この貴重な体験を今後とも備えて風化させず、丹後に大きな地震があつたことを悲しい体験を乗り越えてさまざまな努力の上に今後の丹後が成り立つることこれらを次代の主役の子供達につかり伝えていかなくてはと思います。■しかし、皆さんの体験談を前にしては、こんな思いの未経験者の軽薄なよがりに思えてしまうほど深い対話をしました。ありがとうございました。

編集後記

職員を募集

災害はかならず忘れずやつてく



震災直後の峰山町の市街地

この災害により亡くなられた方は2092人。昔から丹後地方はけじて地震の少ない地域ではあります。歴史はそれを物語っています。平成7年の神戸や平成12年の鳥取。つい最近の事が記憶の片隅に追いやられてはいないでしょうか。悲しみや苦しみから生まれた他では得られない教訓を考えました。日常が日常でなくなる恐ろしさ、災害は人々が思ひもしない時にやってくるものです。今年は丹後で大規模な総合防災訓練が行われます。これを機会にもう一度あの丹後大震災を思い起こして見ましょう。



阪神・淡路大震災（神戸市）
大きく傾く家屋

写真提供
峰山町教育委員会
鳥取県西部広域行政管理組合消防局

日常が日常でなくなる時

もし今、丹後で阪神・淡路のような大地震が起これば、すべての電気や水道などのライフラインはほとんど役立たなくなることが予想されます。もちろん電話もつながりにくくなり、今まで当たり前であつたことが多くが当たり前でなくなるのです。

119番通報も殺到し、丹後広域消防では、そのすぐ同時に対応しきれません。

災害は時として人間の予想を超えた形で起こるもので、その1つの例が阪神・淡路大震災でした。

立ち上がるのは自分たち

丹後にいて 防災訓練

今年8月26日、大宮町において京都府総合防災訓練が行われます。これは京都府下の自治体、警察、消防、自衛隊、医療機関などの協力校などの使つていない教室に、防災用のための物品を置きました。また、京都市では小学校などの一角落に倉庫を作り、防災災害を想定し、避難や人命救助をしていただき開催されるものです。大規模な災害を

災害用の応急物資を置いています。これらは阪神・淡路大震災で交通がマヒし、救援物資などが届きにくかった事を教訓に、各地区に物資を分散して置いておくことで、地域の皆さんにすぐ手にしてもらえるようになります。ですが救援隊は助けを求めるすべての場所に行けないかも知れません。その時そこには皆さんが、いつも生活を供している家族なのです。

備えあれば憂いなし」と言いますが、貴重な教訓が過去のものとして風化してしまう前に、もう一度わたくらたちの備えを見直す時期なのかもしれません。

峰山建設業協会さんの防災倉庫で

私たちの町にち

搜索などの活動が円滑にできるよう、また住民の皆さんを主体とした自主防災組織や消防団、警察などの連携がつまく行えるようにするための訓練です。丹後は全国火災予防運動の始まるきっかけとなつた丹後大震災を経験しています。過去を今一度思い起こし、先人たちの経験と知識をもとに地震による災害をより身近なものとしてとらえ、今回の訓練に参加、または見学していくだごことが今後の貴重な経験になるはずです。災害は突然やつきます。そのとき何ができるかは普段からの経験と、意識のもち方にあります。皆さん積極的にご参加してください。



平成12年10月6日発生の鳥取西部地震（境港市）

阪神・淡路大震災をきっかけに、自主防災が注目を集めるようになりました。また、京都市では小学校などの使つていない教室に、防災用のための物品を置きました。

峰山町杉谷労働基準監督署の横で、住民の皆さんにも参加をしていただき開催されるものです。大規模な災害を



酒樽を避難所として利用（久美浜町）
（西垣俊志氏からの提供写真）

■救援はい。頃始まりましたか。
菊岡 2日遅れて9日くらい
から軍隊や消防団などの救

丹後ちりめん産業が復興の原動力に

は火事場風、火災旋風(ヒザイソウフン)が発生して炎が空に上がるのです。そうすると30メートル離れて避難していても寒くて震えました。余震におびえながら燃えているのを見た夜が明けた頃は、町は焼け野原となっていました。

■救援が始まるまでの2日間、食料や飲料水はどうされたんですか。泉郷では潰れず焼け残ったお家が、米などを出し合って被災された方たちに炊き出しをしました。みんなよく助け合いました。

支えとなつた
隣近所の助は

きるよこはなーたのは昭和
10年頃ですが、復興の原動
力は丹後ちりめん産業だつ
たと思います。

■最近、全国各地で地震が続いている。ひょとするとこの丹後にも、と懸念されますが、読者のみなさんに一言お願ひします。

菊岡 こうすべきと言ふことはむずかしいです。やはり地震に遭つて命ないわからないうと思います。ただ、天災に対する対応としては、いざという時にできることは自分です。自分のことは自分で守る。たとえば、どうやって安全な場所に逃げるか。どうやって自分の命を守るかということを、常日頃考えたり、子供達に

ノートル一本で

■ 地震などの災害の場合には、地域の人が、その場にいる人が、まず助け合うといふことです。それが一番大事ですね。昔は今以上に隣近所を大事にしていました。

岡林 今まで残つてきた貴重な資料は大切に保存しています。こう思っています。毎年3月7日前後に震災記念展を開催していますが、震災から70年以上たつて、年を追うごとに風化している気がします。すこしづつ忘れ去られることがわいしい思います。

ヤハギ「年りなどの道具を備えておくべきだと思います。」

参加者の方の プロフィール



対談も和やかに続きました

丹後大震災を語る

私たちの震災体験から今思うこと

■ 丹後震災は午後6時27分、夕方で火を使ついた時
帶ですが火事の発生も怖いですね。地震の時のみなさい。
様子をお聞かせ下さい。
泉 当時は、網野町)で
も150軒のほとんどがワラ
葺きでした。それで、10分
くらいで火が出来ました。梁
などの下敷きになつたまま
熱い熱いと言ひながら亡くなつた方の話も聞いています
し、焼死された方も2、3人は知つています。ケガをされ
た方は10人ほどおられまし
た。

ゴーリーと

今回、丹後大震災を乗り越えてこられた3人の方にお話をうかがいました。

菊岡　峰山はゴーという音が聞こえると同時に、気がついたら家が潰していました。

多か一だ焼死者

なっています。

なことが重なりました。暗くなる、雪がある、煮炊きしているで、峰山はあちこちから火がでました。だから峰山の人はケガをした人よりも焼死された人が多い。岡林丹後震災の死者は、記録では全体で2992人となっています。

峰山ではそういう道具は役に立ちませんでした。その避難場所で、増長院に火が上がった。あつも、こつちも、といいながら、夜間に、町が焼けるのを見ていきました。



6/3



5/25



5/22

春から夏に向けて救急講習会をはじめさまざまな講習会が丹後各地で行われています。その中からほんの一部を紹介します。

6/3



6/20

保育所の所長さんも救急講習(網野町)



三角巾で応急手当 葛野区(久美浜町)

峰山町消防団が 応急手当普及員講習



人のかつぎ方の体験です



人前で話すことも勉強されました



足を折ったときの処置は

峰山町消防団では、5月28日から8回、計24時間にわたり幹部を対象に峰山消防署において応急手当普及員講習を受けられました。この講習会は、本人自身が応急手当の仕方を学ぶだけではなく他の人に 대해서も指導をしていただきための講習会です。今回は消防団の中で指導的な立場にある方が災害時のいろいろな時、ケガをしている人に対する何もできないものではなく他の人に手当での仕方を教えて少しだけ多くの人を助けよう。この要望の中からこの講習会を受けられました。実際のテクニックだけではなくわかりやすい話し方にいたるまで苦いこの経験が住民の皆さんより信頼につながることだと思います。長時間の講習でした。が大変苦労しました。



7/6

丹後の小学校や保育所をはじめ、多くの方が消防署の見学に来られます。普段見慣れない消防署の中、来てみたどうでしたか?



5/29

庁舎見学

ガンバレ~ 丹波小(峰山町)



あわてず落ち着いて消してね



人形の消ちゃんも大活躍

防災七夕かざり



浅茂川保育所の皆さんです



丹波保育所の皆さんです

7月の3日と5日に、峰山町の浅茂川保育所で、防災七夕かざりを作りました。次遊びをしません、「一人で泳ぎに行きません」、「一人約束をして、たくさんくじにお願いしました。



私のお願い届くかな

中学生の職場体験



放水訓練中 持ってるだけでも大変

この夏、網野と久美浜の中学生2年生の人が、職場体験をするために、峰山消防署と久美浜分署に訪れてくれました。

フトキヤツチ